中学部

年間指導計画

国語

令和７年度　年間指導計画

令和７年度　中学部　３学年（Ⅱ課程A－ａｂグループ）　国語科　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
140	３学年　Ⅱ課程A－ａｂ	別紙記載	国語☆☆☆☆　等

年間目標	（知及技）日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。《中学部２段階》 （思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする《中学部２段階》 （学・人）言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。《中学部２段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	8	（知及技）普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。《中学部１段階》 （思判表力）相手や目的に応じた話し方で話すことができる。《中学部１段階》 （学・人）相手を意識しながら丁寧な言葉でやりとりすることができる。《中学部２段階》	（知・技）普通の言葉との違いに気を付け、丁寧な言葉を使っている。 （思・判・表）相手や目的に応じた話し方で話している。 （主学）相手を意識しながら丁寧な言葉でやりとりしている。	〇自己紹介しよう 〇丁寧な言葉で伝えよう	・教科書Ｐ.14[電話を使って伝えよう] ・相手に内容を正確に伝えるため発声や声量に注意しながら話す。 ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方など、表現の工夫について考える。 ・丁寧な言葉遣いだけでなく、電話での適切な話し方などマナーについても学習する。
	20	（知及技）長音、拗音、促音、撥音の正しい読み方や書き方を知ることができる。《中学部１段階》 （思判表力）自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。《中学部１段階》 （学・人）長音、拗音、促音、撥音を正しく読んだり、書いたりして日常生活で活用できる。《中学部２段階》	（知・技）長音、拗音、促音、撥音の読み方や書き方を理解している。 （思・判・表）丁寧に読み返し、間違いに気付いて正している。 （主学）進んで日本語の音節と文字の関係に関心を持ち、書き表そうとしている。	〇長音、拗音、促音、撥音の正しい読み方、使い方を知ろう・書いてみよう	・教科書Ｐ.16 ～17[言葉のページ] ・日常生活や社会生活で用いられる長音、拗音、促音、撥音を含む語句や文を読んだり、書いたりする。 ・拗音等を書く時はマス目に留意して書くようにする。 ・自分が書いた一文一文を丁寧に読み返し、間違いに気付いたり、規則性に気付いたりすることができるようにする。
	24	（知及技）アクセント、同音異義語、対義語や同義語、上位語・下位語などを知ることができる。《中学部１段階》 （思判表力）日常生活の中で必要な語句や文章などを読み、行動することができる。《中学部１段階》 （学・人）身近なものを正しく読んで意味を理解したり、興味のある文章を読むことができる。《中学部２段階》	（知・技）様々な語句のまとまりや話し方、書き方による意味の違いを理解している。 （思・判・表）様々な語句を声に出して読み、違いに気付いている。 （主学）言葉の意味を考えたり、興味のある文章を読もうとしている。	〇声を出して読んでみよう 〇言葉の意味 〇仲間の言葉	・教科書Ｐ.18 ～21[言葉のページ] ・日常生活で用いられる語句や文章を、読み方の違いに気を付けて音読する。 ・日常生活に身近なものを他にも取り上げ、お互いに発表するなどして活用できる語句を増やしていくことができるようにする。 ・繰り返し音読することで、言葉の意味を考えながら、興味のある文章を読むことにつなげていけるようにする。

令和７年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
２学期	18	（知及技）簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した紀行文があることを知ることができる。《中学部１段階》 （思判表力）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子などを想像したり、考えたりすることができる。《中学部１段階》 （学・人）読書に親しみ、興味がある本や感想をお互いに伝え合うことができる。《中学部２段階》	（知・技）本には物語や紀行文など様々な種類があると理解している。 （思・判・表）文や文章から情景や場面の様子などを想像したり、考えたりしている。 （主学）興味がある本や感想を身近な人へ伝えようとしている。	〇紀行文を知ろう 〇本に親しもう	・教科書P.22～26[日本を旅して] ・教科書P.27～28[本に親しもう] ・内容に応じて適宜、写真を補足したり、映像を見せたりするなどして文章の理解を深める。 ・行ってみたい場所や気になった場所についてお互いに発表する。 ・興味がある本やその面白さを伝える読書郵便のやり取りをする。
	18	（知及技）事柄の順序など、情報と情報との関係について知ることができる。《中学部１段階》 （思判表力）様々な文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。《中学部２段階》 （学・人）文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。《中学部２段階》	（知・技）物語のあらすじや場面の展開に気付いている。 （思･判･表）時間的な順序を追って場面を理解し、登場人物の気持ちを想像している。 （主学）文章を読んで分かったことを伝えたり、感想を表現している。	〇物語文を楽しもう	・教科書P.54～57[オオカミと羊飼い] ・教科書P.58～63[ねぼうしたねこ] ・文中に出てくる語句を丁寧に確認したり、発問したりしながら、物語のあらすじや展開が整理できるようにする。 ・挿絵を参考にして、場面の様子や登場人物の行動を追い、時間の経過や場面の展開を捉える。
	10	（知及技）一文の中で主語と述語の関係やつながりについて知ることができる。《中学部１段階》 （思判表力）文の構成、語句の使い方に気を付けて書くことができる。《中学部１段階》 （学・人）様々な場面で主語と述語を意識して物事を考えたり、伝え合おうとすることができる。《中学部２段階》	（知・技）主語と述語の関係やつながりに気付いている。 （思･判･表）文の構成、語句の使い方に気を付けて書いている。 （主学）主語と述語を意識して物事を考えたり、伝え合おうとしている。	〇主語と述語	・教科書P.92[言葉のページ] ・「何が　どうする」「だれが　どうする」「何は　どんなだ」の例文を音読し、語句と語句のつながりや主語と述語の関係を考える。 ・基本的な一文には語句をつなぐ「が」「は」があり、その前は主語、後は述語であることに気付けるようにする。
	10	（知及技）挨拶状に書かれた語句や文から基本的な形式や季節に応じた表現などについて知ることができる。《中学部１段階》 （思判表力）伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめることができる。《中学部１段階》 （学・人）適切な内容を考え、身近な人に手紙を書くことができる。《中学部１段階》	(知・技）基本的な形式や季節に応じた表現などを理解している。 （思･判･表）伝えたい事柄を考え、書く内容をまとめている。 （主学）相手に応じた適切な内容を書こうとしている。	〇手紙を書こう	・教科書P.86～91[手紙を書こう] ・表書きでは宛先、宛名、差出人の住所や氏名の書き方があることを学習する。 ・相手に応じた丁寧な言葉遣いの表現に気付く。 ・実際に手紙を書きたい相手を選び、伝えたい事柄を考えて書く。

令和７年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
３学期	8	（知及技）点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書くことができる。《中学部１段階》 （思判表力）自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。《中学部１段階》 （学・人）進んで自分が書いた字で伝えたり、考えたりしようとすることができる。《中学部１段階》	（知・技）点画相互の位置関係、点画の長さや向きに注意して書いている。 （思･判･表）書いた語や語句を丁寧に読み返し、正しいものに書き直している。 （主学）進んで自分が書いた字で伝えたり、考えたりしようとしている。	〇書字を楽しもう、毛筆に親しもう	教科書P.93[言葉のページ] ・文字を構成する「横画、縦画、左払い、右払い、折れ、まがり、点」など基本の書き方を確認する。 ・文字を書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、丁寧に書けるようにする。 ・どの部分に気を付けて書いたかを相互に発表し、周囲の人が読みやすい点画が意識できるようにする。
	10	（知及技）長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方が分かり、活用している。《中学部２段階》 （思判表力）文の構成、語句の使い方に気を付けて文章を書くことができる。《中学部１段階》 （学・人）間違いに気付いて文章を正しく直そうとしたり、作文をよりよくしていこうとすることができる。《中学部２段階》	（知及技）長音、拗音、促音、撥音、助詞を正しく書いたり、読んだりしている。 （思判表力）文の構成、語句の使い方に気を付けて文章を書いている。 （主学）自分の作文をよりよくしていこうとしている。	〇伝わりやすくなるように書こう、原稿用紙の使い方	教科書P.100～105[伝わりやすくなるように書こう] ・「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」を使って構成すること、長音、拗音、促音、撥音、助詞などを正しく書くことなどに留意し、内容がより伝わりやすくなる作文の方法を学ぶ。 ・原稿用紙の書き方について学ぶ。
	14	（知及技）主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解することができる。《中学部１段階》 （思判表力）自分の伝えたいことを決め、発表することができる。《中学部２段階》 （学・人）相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつことができる。《中学部２段階》	（知・技）主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 （思･判･表）伝えたいことを決めて、発表している。 （主学）それぞれの発表する内容を聞いたり、質問したりしている。	〇自分の夢を話そう	･教科書P.106～108[自分の夢を話そう] ・題材の内容を整理するポイントを示し、話の大体を捉える。 ・「私は～です。その理由は～だからです」など定型文に沿って自分の夢について考え、発表する。発表を振り返って相互に質問したり、良かった点を伝え合う。

令和７年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		（知及技）日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、日本の言語文化に親しむことができる。 （思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができる。 （学・人）いろいろな図書に親しんで言葉がもつよさに気付いたり、思いや考えを伝え合ったりしようとすることができる。	（知・技）生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、日本の言語文化に親しんでいる。 （思･判･表）人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。 （主学）言葉がもつよさに気付き、いろいろな図書に親しんで、思いや考えを伝え合おうとしている。	〇身近な語句 〇出来事をまとめよう、発表しよう 〇読書、本の読み聞かせ 〇検定試験に向けた学習 〇沖縄の郷土作品鑑賞	・生活で見聞きする身近な語句などを学習する。平仮名、片仮名、漢字を使って書いたり、書いたものを読んだりする。 ・一日を振り返って出来事をまとめたり、発表したりする。 ・興味のある本を選んで読書したり、本の読み聞かせを聞いたりする。 ・日本漢字能力検定など一般的な国語の知識が試される検定試験の内容に取り組む。 ・現在でも活用されているうちなーぐちや沖縄の言語文化に関わる語句、沖縄の郷土作品の紹介をする。
留意点 引継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

中学部

年間指導計画

社会

令和７年度　年間指導計画

令和7年度　中学部　３学年（　Ⅱ課程A-abグループ）　社会科　年間指導計画

単位 /配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
70	３学年　Ⅱ課程A-abグループ	別紙記載	社会☆☆☆☆☆

年間目標	（知及技）自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える役割、自然災害から地域の安全を守るための諸活動及び地域の伝統と文化並びに社会参加するためのきまり、社会に関する基本的な制度及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。《中学部2段階》 （思判表力）社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する力を養う。《中学部2段階》 （学・人）社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。《中学部2段階》

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	（知及技）学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けることができる。《中学部2段階ア(ア)㋐》 （思判表力）周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現することができる。《中学部2段階ア(ア)㋑》 （学・人）協力や助け合いの大切さに気づきながら、友達と一緒に活動しようとすることができる。《中学部2段階》	（知・技）学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けている。 （思・判・表）周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現している。 （主学）協力や助け合いの大切さに気づきながら、友達と一緒に活動している。	「安全で快適な地域生活を目指して」	・教科書P6～13〔役割と責任〕 ・役割の意味について ・責任をもって役割を果たすにはどうすればよい ・教科書P14～28〔社会生活に必要なきまり〕 ・安全で快適に暮らす町のくふう ・社会参加に必要な法 ・社会生活にきまりがあるのはなぜ
		(知及技)家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解することができる。《中学部2段階ア(イ)㋐》 （思判表力）社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現することができる。《中学部2段階ア(イ)㋑》 （学・人）地域の公共施設を実際に利用しながら、ルールを守って使うことの大切さを理解し、生活に生かすことができる。《中学部2段階》	（知・技）家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解している。 （思・判・表）社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現している。 （主学）地域の公共施設を実際に利用しながら、ルールを守って使うことの大切さを理解し、生活に生かすことができている。	「私たちの暮らし」	・教科書P28～39〔みんなのための施設やサービス〕 ・どんな施設 ・どうやって行こう ・外出の計画を立てよう ・教科書P40～49〔暮らしを支える仕組み〕 ・町を支える税金 ・みんなのための話し合い ・みんなの代表
		（知及技）沖縄戦や慰霊の日の意味について知ることができる。《中学部I段階》 （思判表力）平和について考え、表現することができる。《中学部I段階》 （学・人）争いを起こさないために、生活の中でできることを考えようとしている。《中学部I段階》	（知・技）沖縄戦や慰霊の日の意味について知っている。 （思・判・表）平和について考え、表現している。 （主学）争いを起こさないために、生活の中でできることを考えている。	「平和について沖縄戦の状況を学ぼう」	・沖縄戦から慰霊の日の意味を学ぼう ・戦争に関連する校内資料館を見学しよう ・平和について考え表現しよう ・平和の歌視聴

令和７年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		(知及技)地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することことができる。《中学部2段階ウ(ア)㋐》 （思判表力）過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現することができる。《中学部2段階》 （学・人）避難訓練などに参加し、自分の安全を守る行動を実際に体験することができる。《中学部2段階》	（知・技）地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 (思・判・表)過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現している。 （主学）避難訓練などに参加し、自分の安全を守る行動を実際に体験している。	「自然災害から暮らしを守る」	・教科書P50～57〔地震から暮らしを守る〕 ・沖縄の自然災害 ・地震に備える ・災害から暮らしを守る ・教科書P58～61〔水害から暮らしを守る〕 ・水害に備える
2学期	28	(知及技)　地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解することができる。《中学部2段階エ(ア)㋐》 （思判表力）人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。《中学部2段階エ(ア)㋑》 （学・人）見学や体験を通して、地域産業への関心を持ち、生活とつなげて考えることができる。《中学部2段階》	（知・技）地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解している。 (思・判・表)人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 （主学）見学や体験を通して、地域産業への関心を持ち、生活とつなげて考えている。	「私たちの住む県と産業」	・教科書P62～66〔伝統的な工業がさかんな地域〕 ・焼き物づくりのさかんな地域 ・焼き物ができるまで ・焼き物を広め、守り、生かす ・教科書P67～71〔美しい景観を生かす地域〕 ・景観を守る取組 ・景観と町づくり ・景観を生かしていく
		(知及技)水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解することができる。《中学部2段階エ(イ)㋐》 (思判表力)供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現することができる。《中学部2段階エ(イ)㋑》 (学・人)生活を支える事業について学び、家庭や地域の生活と結びつけて考えることができる。《中学部2段階》	（知・技）水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 (思・判・表)供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 (主学)生活を支える事業について学び、家庭や地域の生活と結びつけて考えている。	「住みよい暮らしをつくる」	・教科書P72～81〔暮らしを支える水〕 ・暮らしに欠かせない水 ・私たちが使う水はどこから ・きれいな水をつくる ・使ったあとの水のゆくえ ・教科書P82～93〔ごみの処理と活用〕 ・ごみの処理と生活 ・ごみのゆくえ ・燃やしたごみのゆくえ ・資源ごみのゆくえ ・ごみ処理のくふう

令和７年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		(知及技)自分たちの県の概要を理解することができる。《中学部2段階オ(ア)㋐》 （思判表力）我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現することができる。《中学部2段階オ(ア)㋑》 （学・人）自分の生活と県の特色を結びつけて、考えることができる。《中学部2段階》	（知・技）自分たちの県の概要を理解している。 (思・判・表)我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。 （主学）自分の生活と県の特色を結びつけて、考えている。	「私たちの県」	・教科書P94～105〔私たちの県〕 ・私たちの県はどんな形 ・私たちの県はどこにある ・沖縄県でとれる野菜や果物 ・沖縄県にある市町村 ・自然豊かな町 ・古くから残るものがたくさんある町
		(知及技)県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。《中学部2段階オ(イ)㋐》 （思判表力）歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。《中学部2段階オ(イ)㋑》 （学・人）文化や歴史を通じて地域に親しみをもち、生活とつなげて考えることができる。《中学部2段階》	（知・技）県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知っている。 (思・判・表)歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 （主学）文化や歴史を通じて地域に親しみをもち、生活とつなげて考えている。	「私たちの歴史や伝統」	・教科書P106～117〔受けつがれてきたもの〕 ・沖縄県の史跡 ・沖縄県の史跡を作った人 ・那覇市の史跡 ・那覇市の史跡をつくった人 ・沖縄県の無形文化財 ･教科書P118～121〔各地域の行事や祭〕 ・沖縄県の行事や祭
3学期	16	(知及技)文化や風習の特徴や違いを理解することができる。《中学部2段階カ(ア)㋐》 （思判表力）人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現することができる。《中学部2段階カ(ア)㋑》 (学・人)異なる文化の人とふれあう経験を通して、相手を尊重しようとすることができる。《中学部2段階》	（知・技）文化や風習の特徴や違いを理解している。 (思・判・表)人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現している。 （主学）異なる文化の人とふれあう経験を通して、相手を尊重している。	「世界の国と日本」	・教科書P122～133〔世界の民族衣装〕 ・サウジアラビアの暮らし ・韓国の暮らし
		(知及技)外国の人々の生活の様子を大まかに知ることができる。《中学部2段階》 （思判表力）世界の出来事や文化に注目し、外国の人々の生活の様子をとらえることができる。《中学部2段階》 （学・人）外国の文化や生活に関心をもち、友達と話し合ったり、行事に参加したりすることができる。《中学部2段階》	（知・技）外国の人々の生活の様子を大まかに知っている。 (思・判・表)世界の出来事や文化に注目し、外国の人々の生活の様子をとらえている。 （主学）外国の文化や生活に関心をもち、友達と話し合ったり、行事に参加したりしている。	「世界の人々の暮らしと国際交流」	・教科書P134～144〔世界の人々の暮らし〕 ・ブラジル ・インド ・ドイツ

令和７年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		（知及技）選挙の意義、種類、ルール、流れを知ることができる。《中学部I段階》 （思判表力）模擬選挙を通し て、選挙の流れや投票の方法を身に付けることができる。《中学部I段階》 （学・人）実生活で行われた選挙について調べることができる。《中学部I段階》	（知・技）選挙の意義、種類、ルール、流れを知っている。 （思・判・表）模擬選挙や身近な選挙を通して、選挙の流れや投票の方法を身に付けている。 （主学）実生活で行われた選挙について調べている。	「選挙について」	・みんなのための話し合い ・みんなで選ぶみんなの代表 ・模ぎ選挙
		(知及技)1年間の学習内容について理解することができる。《中学部1段階》 （思判表力）年間の学習内容を振り返り発表することができる。《中学部1段階》 （学・人）これまでの学習や今後の学習に興味・関心を持つことができる。《中学部1段階》	（知・技）1年間の学習内容について理解している。 (思・判・表)1年間の学習内容を振り返り、発表している。 （主学）これまでの学習や今後の学習に興味・関心を持とうとしている。	「1年間の学習を振り返ろう」	・１年間の学習振り返り ・感想発表 ・次年度の学習について ・パワーポイントで振り返る ・理解できたこと、楽しかった授業を発表しよう
年間を通して		(知及技)年間の学習内容、授業中で決まりや守ることの大切さを知り、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりすることができる。《小生活3段階》 （思判表力）授業を進めるために必要なきまりや役割分担について考えると共に、話し合いを通して決めることができる。《小生活3段階》 （学・人）年間の学習内容に興味・関心を持つと共に、授業の中で決めたきまりや役割を意識して守ったり、クラスの一員として活動しようとしたりすることができる。《小生活3段階》	（知・技）年間の学習内容、授業中で決まりや守ることの大切さを知り、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いている。 (思・判・表)授業を進めるために必要なきまりや役割分担について考えると共に、話し合いを通して決めている。 (主学)年間の学習内容に興味・関心を持つと共に、授業の中で決めたきまりや役割を意識して守ったり、クラスの一員として活動している。	「社会科の授業でのきまり」	・年間の学習内容の紹介 ・自己紹介、学習メンバー、学習場所の確認 ・授業の進め方、約束 ・役割についての話し合い、決定 ・授業、単元の進め方 ・約束について学ぼう ・必要な役割を考えて決めよう ・話し合をしよう ・意見を述べよう、聞こう
留意点引き継ぎ		個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

中学部

年間指導計画

数学

令和７年度　年間指導計画

令和7年度　中学部　３学年（　Ⅱ課程A-aグループ）　数学科　年間指導計画

単位/配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
140	３学年　Ⅱ課程A-aグループ	別紙記載	数学☆☆☆☆☆
年間目標	(知及技）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。《中学部２段階》 (思判表力）日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。《中学部２段階》 (学・人）数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。《中学部２段階》		

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)3位数や４位数の数を読み書きしたり、数の大小関係を不等号や等号を使って表したりすることができる。《中２段階Aア(ｱ)㋐》 (思判表力）10や100のまとまりに着目し、数の数え方や大きさの比べ方について考えることができる。《中２段階Aア(ｲ)㋐》 (主学）数の数え方や大きさの比べ方について考え、日常生活で生かすことができる。《中２段階Aア(ｲ)㋐》	(知・技)3位数や４位数の数を読み書きしたり、数の大小関係を不等号や等号を使って表したりすることができている。 (思・判・表）数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えている。 (主学）数の数え方や大きさの比べ方について考え、日常生活で生かそうとしている。	「数と計算」 ・1000より大きい数 ・数の大きさの比べ方 ・10倍、100倍の大きさの数 ・10に分けた数 ・数のいろいろな表し方	・教科書ｐ4－9 ・教科書ｐ10－15 ・教科書ｐ16－20 ・教科書ｐ21－23 ・教科書ｐ24－25
	12	(知及技)3位数や４位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算することができる。《中２段階Aイ(ｱ)㋐》 (思判表力)数の仕組みに着目し、加法及び減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考えることができる。《中２段階Aイ(ｲ)㋐》 (主学）筆算の仕方やよさがわかり、日常生活で活用することができる。《中２段階Aイ(ｲ)㋐》	(知・技)3位数や４位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができている。 (思・判・表）数の仕組みに着目し、加法及び減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考えている。 (主学）筆算の仕方やよさがわかり、日常生活で活用しようとしている。	「数と計算」 ・3桁の数の計算 ・4桁の数の計算 ・計算のきまり ・計算機	・教科書ｐ26－33 ・教科書ｐ34－36 ・教科書ｐ37－38 ・教科書ｐ39
	14	(知及技)乗法の意味や性質を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉や式で表すことができる。《中１段階Aウ(ｱ)㋑》 (思判表力)乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、九九の構成の仕方を考えることができる。《中１段階Aウ(ｲ)㋒》 (学・人)計算の仕方やよさがわかり、日常生活で活用することができる。《中２段階Aウ(ｲ)㋐》	(知・技)乗法の意味や性質を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉や式で表すことができている。 (思・判・表)乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、九九の構成の仕方を考えている。 (主学)計算の仕方やよさがわかり、日常生活で活用しようとしている。	「数と計算」 ・かけ算	・教科書ｐ40－51

令和７年度　年間指導計画

1 学 期	14	(知及技)除法が用いられる場面や意味について理解し、式に表したり答えを求めることができる。《中２段階Aエ(ｱ)㋐㋑》 (思判表力)数量の関係に着目し、割り切れる場合と割り切れない場合があることに気付くことができる。《中２段階Aエ(ｲ)㋐》 (学・人)計算の仕方やよさがわかり、日常生活で活用することができる。《中２段階Aエ(ｲ)㋐》	(知・技)除法が用いられる場面や意味について理解し、式に表したり、式を読み取ったり計算したりすることができている。 (思・判・表))数量の関係に着目し、割り切れる場合と割り切れない場合があることに気付いている。 (主学)計算の仕方やよさがわかり、日常生活で活用しようとしている。	「数と計算」 ・わり算	・教科書p52－62
2 学 期	18	(知及技)小数や分数の意味や表し方について理解することができる。《中２段階Aオ(ｱ)㋐、カ(ｱ)㋐》 (思判表力)小数や分数の大きさについて、大小を比べることができる。《中２段階Aオ(ｲ)㋐、カ(ｲ)㋐》 (学・人)小数や分数で表すことのよさがわかり、生活や学習に活用することができる。《中２段階Aオ(ｲ)㋐、カ(ｲ)㋐》	(知・技)小数や分数の意味や表し方について理解している。 (思・判・表小数や分数の大きさについて、大小を比べることができている。 (主学)小数や分数で表すことのよさがわかり、生活や学習に活用することができている。	「数と計算」 ・小数 ・分数	・教科書p63－66 ・教科書p67－69
	12	(知及技)未知の数量を□を用いて表せることを理解し、□を使って数量の関係を式や図で表すことができる。《中２段階Aキ(ｱ)㋐㋑》 (思判表力)□で表された式や図を読み取り、□に当てはまる数を考えることができる。《中２段階Aキ(ｲ)㋐》 (学・人)□を使って、場面を式や図で表すことのよさを知り、学習で活用することができる。《中２段階Aキ(ｲ)㋐》	(知・技)未知の数量を□を用いて表せることを理解し、□を使って数量の関係を式や図で表すことができている。 (思・判・表)□で表された式や図を読み取り、□に当てはまる数を考えている。 (主学)□を使って、場面を式や図で表すことのよさを知り、学習で活用することができている。	「数と計算」 ・□を使った式	・教科書p70－73
	12	(知及技)基本的な図形の性質や構成する要素を理解し、作図することができる。《中２段階Bア(ｱ)㋐㋒㋓㋔》 (思判表力)図形を構成する要素やその関係の着目し、図形の特徴や性質について考えることができる。《中２段階Bア(ｲ)㋐》 (学・人)身の回りのものの形を図形として捉えたり、敷き詰めなどを通して図形に関心を持ったりすることができる。《中２段階Bア(ｲ)㋐》	(知・技)基本的な図形の性質や構成する要素を理解している。また、定規やコンパスなどを使って作図することができている。 (思・判・表)図形を構成する要素やその関係の着目し、図形の特徴や性質について考えることができている。 (主学)身の回りのものの形を図形として捉えたり、敷き詰めなどを通して図形に関心を持ったりすることができている。	「図形」 ・二等辺三角形、正三角形 ・垂直と平行 ・円 ・円と球	・教科書p74－79 ・教科書p80－81 ・教科書p82－85 ・教科書p86－87 ・教科書p88－93

令和７年度　年間指導計画

2 学 期	8	(知及技)面積の意味を理解し、単位を用いて読み書きすることができる。《中２段階Bイ(ｱ)㋐㋑》 (思判表力)図形の面積について求め方を考えたり、計算したりすることができる。《中２段階Bイ(ｲ)㋐》 (学・人)図形の面積を求める問題にすすんで関わることができる。《中２段階Bイ(ｲ)㋐》	(知・技)面積の意味を理解し、単位を用いて読み書きすることができている。 (思・判・表)図形の面積について求め方を考えたり、計算して求めたりすることができている。 (主学)図形の面積を求める問題にすすんで関わることができている。	「図形」 ・面積	・教科書p88－93
	6	(知及技)分度器を使って、角の大きさを計測することができる。《中２段階Bウ(ｱ)㋐㋑㋒》 (思判表力)角の大きさを比べることができる。《中２段階Bウ(ｲ)㋐》 (学・人）角の大きさの単位に着目し、図形の考察に生かすことができる。《中２段階Bウ(ｲ)㋐》	(知・技)分度器を使って、角の大きさを計測することができている。 (思・判・表)角の大きさを比べることができている。 (主学)角の大きさの単位に着目し、図形の考察に生かすことができている。	「図形」 ・角度	・教科書p94－99
3 学 期	16	(知及技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができる。《中２段階Cア(ｱ)㋐》 (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察することができる。《中２段階Cア(ｲ)㋐》 (学・人)日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができる。《中２段階Cア(ｲ)㋐》	(知・技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりしている。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察している。 (主学)日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察している。	「変化と関係」 ・2つの量の変わり方	・教科書ｐ100－107
	16	(知及技)表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解することができる。《中２段階Dア(ｱ)㋒》 (思判表力)目的に応じてデータを集めて分類・整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察することができる。《中２段階Dア(ｲ)㋑》 (学・人)表や棒グラフ、折れ線グラフの読み取りに進んで取り組み、そのよさに気付くことができる。《中２段階Dア(ｲ)㋐》	(知・技)表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解している。 (思・判・表)目的に応じてデータを集めて分類・整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察している。 (主学)表や棒グラフ、折れ線グラフの読み取りに進んで取り組み、そのよさに気付いている。	「データの活用」 ・表と棒グラフ ・折れ線グラフ	・教科書p108－115 ・教科書p116－121

令和７年度　年間指導計画

年間を通して	(知及技)４位数程度の足し算や引き算の計算や、かけ算九九の暗証、簡単な割り算ができる。 (思判表力)数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。 (学・人)学習で学んだことのよさに気付き、粘り強く考えたり、よりよく問題を解決しようとしたりすることができる。	(知・技)３位数程度の足し算や引き算の計算やかけ算九九の暗唱ができている。 (思・判・表)計算の仕方を考えたり、かけ算九九の答えを累加で求めている。 (主学)計算問題やかけ算九九の問題に粘り強く考えたり、問題に取り組んだりしている。	「数と計算」 ・足し算 ・引き算 ・かけ算 ・割り算	・プリント学習 ・iPad学習
留意点 引き継ぎ	個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

中学部

年間指導計画

音楽

令和7年度　年間指導計画

令和7年度　中学部 3年(　Ⅱ課程A－abグループ)音楽科　年間指導計画

単位 /配当時数	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
70	3年 Ⅱ課程A－abグループ	別紙記載	音楽☆☆☆☆
年間目標	(知及技)曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。《中1段階》 (思判表力)音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聞くことができるようにする。《中1段階》 (学･人)進んで音や音楽に関わり，協同して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。《中1段階》		

学期	時数	単元･題材の目標	単元･題材の評価規準	単元･題材名	単元･題材の活動内容
一学期	9	(知及技)範唱を聴いて歌ったり手話を模倣したり歌詞を見て歌うことができる。《中1段階》 (思判表力)曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付くことができる。《中1段階》 (学･人)自然な発声でのびのびと歌う喜びを味わうことができる。《中1段階》	(知･技)範唱を聴いて歌ったり手話を模倣したり歌詞を見て歌っている。 (思･判･表)曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いている。 (主学)自然な発声でのびのびと歌う喜びを味わおうとしている。	・みんなで歌おう 【歌唱】「校歌」 「友だちはいいもんだ」P6 「ふじ山」P14 「とんび」P16	･教師の模倣をしながら手話を交え、伸びやかな声で歌う喜びを表現する。
	5	(知及技)平和への思いを持ち、歌詞を見ながら曲の雰囲気にあった声量を考えて表現することができる。《中1段階》 (思判表力)曲想に親しみ、曲の雰囲気や歌詞の内容を理解しながら思いを込めて歌うことができる。《中1段階》 (学･人)平和に関する音楽を鑑賞し平和について考えることができる。《中1段階》	(知･技)平和への思いを持ち、歌詞を見ながら曲の雰囲気にあった声量を考えて表現している。 (思･判･表)曲想に親しみ、曲の雰囲気や歌詞の内容を理解しながら思いを込めて歌っている。 (主学)平和に関する音楽を鑑賞し平和について考えようとしている。	・平和学習のうた 【歌唱】【鑑賞】「月桃」 「いのちのリレー」「さとうきび畑」	･平和について考える機会とし、歌詞に込められた思いを感じ取りながら歌う。

令和7年度　年間指導計画

	12	(知及技)音符や休符について学習し、それを用いてリズムを表現できる。《中1段階》 (思・判・表)曲の雰囲気に合ったリズムやテンポで身体表現できる。《中1段階》 (学・人)教師や友達と一緒に身体表現を楽しむことができる。《中1段階》	(知・技)音符や休符について学習し、それを用いてリズムを表現している。 (思・判・表)曲の雰囲気に合ったリズムやテンポで身体表現している。 (主学)教師や友達と一緒に身体表現を楽しもうとしている。	・リズムに合わせて表現しよう 【音楽づくり】 「音ぷや休ふのきまり」P40 【身体表現】 「パプリカ」P30	･音楽に合わせて色々なパターンのリズム打ちや身体表現を楽しみながら、音符や音価についての簡単な学習を行う。
二学期	10	(知及技)範唱を聴いて歌ったり手話を模倣したり歌詞を見て歌うことができる。《中1段階》 (思判表力)曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付くことができる。《中1段階》 (学・人)自然な発声でのびのびと歌う喜びを味わうことができる。《中1段階》	(知・技)範唱を聴いて歌ったり手話を模倣したり歌詞を見て歌っている。 (思・判・表)曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いている。 (主学)自然な発声でのびのびと歌う喜びを味わおうとしている。	・歌い方を工夫しよう 【歌唱】 「声の出し方」P66 「うさぎ」P15 「赤とんぼ」P17「島人ぬ宝」P73「まきばの朝」P74 「ドナドナ」P75	･歌詞の内容を理解し、姿勢に気をつけながら表情豊かに歌う。
	6	(知及技)音楽に合わせて、様々な動きを組み合わせて身体表現することができる。《中1段階》 (思判表力)曲や物語のイメージに合う表現を工夫することができる。《中1段階》 (学・人)友達と協力しながら音楽に合わせて身体表現することができる。《中1段階》	(知・技)音楽に合わせて、様々な動きを組み合わせて身体表現している。 (思・判・表)曲や物語のイメージに合う表現を工夫している。 (主学)友達と協力しながら音楽に合わせて身体表現しようとしている。	・音楽劇をしよう 【身体表現】 「セロひきのゴーシュ」P92	･曲の雰囲気や歌詞の内容に気を付けながら歌う。 ･曲の雰囲気や歌詞の内容に気をつけながら鑑賞する。
	6	(知及技)郷土の音楽や楽器(三線)についての基礎的な知識や奏法を身に付けることができる。《中1段階》 (思判表力)郷土の音楽の特徴的な音色やリズムを味わい表現することができる。《中1段階》 (学・人)郷土の音楽の特徴を感じながら鑑賞することができる。《中1段階》	(知・技)郷土の音楽や楽器(三線)についての基礎的な知識や奏法を身に付けている。 (思・判・表)郷土の音楽の特徴的な音色やリズムを味わい表現している。 (主学)郷土の音楽の特徴を感じながら鑑賞している。	・沖縄(郷土)の音楽 【器楽】 「三線を弾いてみよう」 『てぃんさぐぬ花』☆☆ 【鑑賞】 ・古典音楽 ・沖縄JPOP等	･郷土の音楽に興味関心を持ち、三線の基本的な扱い方や奏法を学ぶ。 ･郷土の音楽を鑑賞する。

令和7年度　年間指導計画

二学期	6	(知及技)様々な楽器に親しみ基本的な奏法を身に付けることができる。《中1段階》 (思判表力)曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫することができる。《中1段階》 (学･人)教師や友達と一緒に演奏する楽しみを味わうことができる。《中1段階》	(知･技)様々な楽器に親しみ基本的な奏法を身に付けている。 (思･判･表)曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫している。 (主学)教師や友達と一緒に演奏する楽しみを味わおうとしている。	・楽器を演奏しよう 【器楽】 「マンボNo.5」P90 ・旋律楽器・打楽器	･簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色や響きなどに気を付けて演奏する。
三学期	5	(知及技)世界の音楽や楽器についての基礎的な知識を身に付けることができる。《中1段階》 (思判表力)世界の音楽と楽器の特徴的な音色やリズムを味わい言葉で伝えることができる。《中1段階》 (学･人)世界の音楽の特徴を感じながら鑑賞することができる。《中1段階》	(知･技)世界の音楽や楽器についての基礎的な知識を身に付けている。 (思･判･表)世界の音楽と楽器の特徴的な音色やリズムを味わい言葉で伝えている。 (主学)世界の音楽の特徴を感じながら鑑賞しようとしている。	・世界の音楽と楽器を知ろう 【鑑賞】 ・京劇～中国の音楽からP64 ・アメリカ（ハワイ）の音楽P65	･世界の楽器に触れる体験をする。 ･世界の音楽を鑑賞する。
	8	(知及技)教師の示範をよく見て手話を模倣したり模唱することができる。《中1段階》 (思判表力)曲想に親しみ、曲の雰囲気や歌詞の内容を感じながらのびのびと歌うことができる。《中1段階》 (学･人)卒業に関連する曲を聴き曲想や歌詞の雰囲気を味わうことができる。《中1段階》	(知･技)教師の示範をよく見て手話を模倣したり模唱している。 (思･判･表)曲想に親しみ、曲の雰囲気や歌詞の内容を感じながらのびのびと歌っている。 (主学)卒業に関連する曲を聴き曲想や歌詞の雰囲気を味わっている。	・卒業の歌 【歌唱】 「校歌」「大切なもの」P97「旅立ちの日に」☆☆☆☆☆P69「ベストフレンド」P99 【鑑賞】 ・卒業の曲	･歌詞の内容を味わいながら思いを込めて歌う。 ･色々な卒業に関連する曲を鑑賞する。
	3	(知及技)既習曲の曲名や曲の特徴を覚えることができる。《中1段階》 (思判表力)1年間の活動を振り返り曲の良さや表現の楽しさを感じることができる。《中1段階》 (学･人)みんなの前で演奏したり感想を発表することができる。《中1段階》	(知･技)既習曲の曲名や曲の特徴を覚えている。 (思･判･表)1年間の活動を振り返り曲の良さや表現の楽しさを感じている。 (主学)みんなの前で演奏したり感想を発表している。	･1年間のまとめ	･既習曲を演奏し、頑張ったことを発表する。

令和7年度　年間指導計画

年間を通して	(知及技)曲や演奏の良さを感じながら聴くことができる。《中1段階》 (思判表力)様々なジャンルの音楽の音の響きの特徴やリズムパターンなどの面白さを感じることができる《中1段階》 (学・人)様々なジャンルの音楽に触れてその楽しさに気付くことができる《中1段階》	(知・技)曲や演奏の良さを感じながら聴いている。 (思・判・表)様々なジャンルの音楽の音の響きの特徴やリズムパターンなどの面白さを感じている。 (主学)様々なジャンルの音楽に触れてその楽しさに気付いている。	・いろいろな音楽を聴こう 【鑑賞】 「Let It Be」「ハリーポッターのテーマ」「グリーンスリーヴスによる変奏曲」 ・季節の音楽 ・音楽のちがいを比べよう ●音色のちがいを比べよう 「アメイジング・グレイス」「四季より『春』」「フーガト短調（小フーガ）」「アルルの女より『メヌエット』」	・様々なジャンルの音楽に触れ、音楽体験を広げる。 ・速度の違いに気を付けて音楽を鑑賞する。
留意点 引き継ぎ	・個々の活動の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			

中学部

年間指導計画

職業・家庭
（家庭分野）

令和7年度　年間指導計画

令和7年度　中学部　3学年（　Ⅱ課程A－abグループ）　家庭科　年間指導計画

<table>
<tr><td colspan="2">単位
/配当時数</td><td colspan="2">児童生徒について</td><td>担当者</td><td>教科書/副教材</td></tr>
<tr><td colspan="2">70</td><td colspan="2">3学年　Ⅱ課程A－abグループ</td><td>別紙記載</td><td>職業・家庭☆☆☆☆</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2">年間目標</td><td colspan="4">(知及技）生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を見に付けられるようにする。《中１段階》
(思判表力）将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考えられるようにする。《中１段階》
(学・人）よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実現的な態度を養う。《中１段階》</td></tr>
<tr><td>学期</td><td>時数</td><td>単元・題材の目標</td><td>単元・題材の評価規準</td><td>単元・題材名</td><td>単元・題材の活動内容</td></tr>
<tr><td>一学期</td><td>26</td><td>(知及技)家庭科の学習内容がわかる。《中１段階Aア》
(思判表力）自分の成長について振り返り家庭生活の大切さを考えることができる。《中１段階Aア》
(学・人）家族を大切にする気持ちを育み、よりよい関わり方がわかる。《中１段階Aア》

（知及技）日常着の着方や手入れの仕方について知ることができる。《中１段階Bウ》
（思判表力）小物製作のデザインを工夫できる。《中１段階Bウ》
（学・人）場面に応じた服装があることを知り実践できる。《中１段階Bウ》</td><td>(知・技)家庭科の学習内容についてスライドや話を聞いて知っている。
(思・判・表）自分の成長を振り返り家庭生活の大切さを考えている。
(主学）家族を大切にする気持ちを態度で示している。

（知・技）日常着の着方や手入れの仕方について知っている。
（思・判・表）小物製作のデザインを考えて工夫している。

（主学）場面に応じた服装があることを知り実践している。</td><td>・家族・家庭生活

・衣食住の生活「衣生活」</td><td>・家庭科の学習内容について
・自分の成長家族(教科書P38)
・家庭生活と役割
（教科書P42）
・家庭生活における余暇
（教科書P46）
・幼児の生活と家族
（教科書P50）

・衣類の着用と手入れ
（教科書P64）
・布小物の製作
（ポケットティッシュケース、サコッシュ等の製作）</td></tr>
<tr><td>二学期</td><td>28</td><td>（知及技）健康な生活と食事の役割について知ることができる。《中１段階Ｂア》（思判表力）適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気づくことができる。《中１段階Ｂア》
（学・人）身体に必要な栄養について理解し、実践できる。《中２段階Ｂイ》</td><td>（知・技）健康な生活と食事の役割について知っている。
（思・判・表）適切な食事の量を知っている。

（主学）身体に必要な栄養について理解し実践している。</td><td>・衣食住の生活「食生活」</td><td>・楽しく食べて元気に（教科書P64）
・栄養を考えた食事</td></tr>
</table>

令和7年度　年間指導計画

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		（知及技）簡単な調理の手順を知ることができる。《中１段階Ｂイ》 （思判表力）簡単な調理計画について考えることができる。 （学・人）簡単な調理を実際に行うことができる。《中１段階Ｂイ》	（知・技）簡単な調理の手順を知っている。 （思・判・表）簡単な調理計画について考えている。 （主学）簡単な調理を手順に沿って行っている。	・衣食住の生活「調理の基礎」	・おいしく楽しい調理（教科書P58） （簡単な日常食、調理用具の安全な扱い方など）
		（知及技）整理整頓や清掃の仕方について知ることができる。《中１段階Ｂエ》 （思判表力）季節の変化合わせた清掃の仕方に気づき工夫ができる。《中１段階Ｂエ》 （学・人）整理整頓や清掃を実践できる。《中１段階Ｂエ》	（知・技）整理整頓や清掃の仕方を知っている。 （思・判・表）季節の変化に合わせた清掃の仕方に気づき工夫している。 （主学）整理整頓や清掃をしている。	・衣食住の生活「住生活」	・快適に過ごす住まい方（教科書P68） ・清掃の意義、用具の手入れ ・整理整頓、掃除用具の扱い方 ・住まいの清掃
三学期	16	（知及技）買い物の仕組みを知ることができる。《中１段階Cア》 （思判表力）計画的な買い物をすることができる。《中１段階Cア》 （学・人》環境に配慮した物の使い方やゴミの分別などを実践することができる。《中１段階Cア》	（知・技）買い物の仕組みを理解している。 （思・判・表）計画的な買い物をしている。 （主学）環境に配慮した物の使い方やゴミの分別などを実践している。	・消費生活・環境	・身近な消費生活（教科書P72) ・現金以外の支払い方について知ろう ・環境に配慮した生活（教科書P76） SDGSについて ゴミの分別 ・１年間のまとめ
留意点引き継ぎ		・個々の学習の進捗に合わせて、個別の支援や発展的な課題の提示を行う。			